

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2007-68672(P2007-68672A)

【公開日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2005-257176(P2005-257176)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 6 Q 20/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

A 6 3 F 7/02 3 2 8

A 6 3 F 7/02 3 5 2 N

A 6 3 F 7/02 3 5 2 L

G 0 6 F 17/60 1 4 6 Z

G 0 6 F 17/60 4 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月21日(2009.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機に対応して設けられる遊技用装置と、

複数の前記遊技用装置と通信可能であり、該遊技用装置で行われる各種処理に伴い該遊技用装置により更新される通番が少なくとも記録される記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報に対応付けて、通番及び遊技媒体の貸与に使用される残額を管理する管理装置と、を備え、

前記遊技用装置は、

前記管理装置と通信できる通信可能状態であるか通信できない通信不可能状態であるかを検知する通信可否検知手段を有し、

該通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貸与操作を受け付けたことに基づいて、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲内で遊技媒体を貸与するための記録媒体貸与処理を行い、

前記通信可否手段による検知に関わらず前記記録媒体を排出する遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、前記通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額と前記記録媒体の記録媒体識別情報とを含む入金要求を前記管理装置に対して送信する入金要求送信手段を有し、

前記管理装置は、前記入金要求の受信に応じて、該入金要求に含まれる受付貨幣額を入金予定額として、該入金要求に含まれる記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、該記録媒体識別情報に対応する通番を更新する第1の通番更新処理と、前記記録媒体識別情報に対応する管理残額と入金予定額との合算額を特定可能な残額通知を前記遊技用装置

に対して送信する処理とを行う入金要求受信処理手段を有し、

前記遊技用装置は、前記残額通知の受信に応じて、該残額通知に基づいて特定される合算額の範囲内で遊技媒体の貸与を可能とするための貸与可能処理と、前記記録媒体の通番を更新する第2の通番更新処理と、該第2の通番更新処理を行った旨を示す通番更新通知を前記管理装置に対して送信する通番更新通知送信処理とを行う残額通知受信処理手段をさらに有し、

前記管理装置は、前記通番更新通知の受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して該記録媒体識別情報に対応する入金予定額を加算する入金予定額加算処理と、該入金予定額を加算済であることを特定可能な状態に更新する入金予定額加算済更新処理とを行う通番更新通知受信処理手段をさらに有し、

前記遊技用装置は、前記記録媒体を受け付けたことに基づいて、該受け付けた記録媒体に記録されている記録媒体識別情報と通番とを少なくとも含む記録媒体受付情報を前記管理装置に対して送信する記録媒体受付情報送信手段をさらに有し、

前記管理装置は、

前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に含まれる通番が、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する通番と一致するか否かを判定する通番判定手段をさらに有し、

該通番判定手段により通番が一致しないと判定され、かつ前記入金予定額について入金予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記入金予定額加算処理を行うことなく、前記入金予定額加算済更新処理を行うと共に、前記通番が一致するよう更新する通番不一致時処理を行い、

前記通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記入金予定額について入金予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記入金予定額加算処理と、前記入金予定額加算済更新処理とを行う通番一致時処理を行うことを特徴とする遊技用システム。

【請求項2】

遊技機に対応して設けられる遊技用装置と、

複数の前記遊技用装置と通信可能であり、該遊技用装置で行われる各種処理に伴い該遊技用装置により更新される通番が少なくとも記録される記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報に対応付けて、通番及び遊技媒体の貸与に使用される残額を管理する管理装置と、を備え、

前記遊技用装置は、

前記管理装置と通信できる通信可能状態であるか通信できない通信不可能状態であるかを検知する通信可否検知手段を有し、

該通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貸与操作を受け付けたことに基づいて、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲内で遊技媒体を貸与するための記録媒体貸与処理を行い、

前記通信可否手段による検知に関わらず前記記録媒体を排出する遊技用システムであつて、

前記遊技用装置は、前記通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額と前記記録媒体の記録媒体識別情報とを含む入金要求を前記管理装置に対して送信する入金要求送信手段を有し、

前記管理装置は、前記入金要求の受信に応じて、該入金要求に含まれる受付貨幣額を、該入金要求に含まれる記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して加算する処理と、該受付貨幣額を加算済受付貨幣額として、該記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、該記録媒体識別情報に対応する通番を更新する第1の通番更新処理と、前記記録媒体識別情報に対応する管理残額を含む残額通知を前記遊技用装置に対して送信する残額通知送信処理とを行う入金要求受信処理手段を有し、

前記遊技用装置は、前記残額通知の受信に応じて、該残額通知に含まれる管理残額の範

范围内で遊技媒体の貸与を可能とするための貸与可能処理と、前記記録媒体に記録される通番を更新する第2の通番更新処理と、該第2の通番更新処理を行った旨を示す通番更新通知を前記管理装置に対して送信する通番更新通知送信処理とを行う残額通知受信処理手段をさらに有し、

前記管理装置は、前記通番更新通知の受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応付けて記憶している加算済受付貨幣額を処理済であることを特定可能な状態に更新する受付貨幣額処理済更新処理を行う通番更新通知受信処理手段をさらに有し、

前記遊技用装置は、前記記録媒体を受け付けたことに基づいて、該受け付けた記録媒体に記録されている記録媒体識別情報と通番とを少なくとも含む記録媒体受付情報を前記管理装置に対して送信する記録媒体受付情報送信手段をさらに有し、

前記管理装置は、

前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に含まれる通番が、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する通番と一致するか否かを判定する通番判定手段をさらに有し、

該通番判定手段により通番が一致しないと判定され、かつ前記加算済受付貨幣額について受付貨幣額処理済更新処理が行われていないことを条件として、前記管理残額から該加算済受付貨幣額を減算する加算済受付貨幣額減算処理と、前記受付貨幣額処理済更新処理とを行うと共に、前記通番が一致するように更新する通番不一致時処理を行い、

前記通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記加算済受付貨幣額について受付貨幣額処理済更新処理が行われていないことを条件として、前記受付貨幣額処理済更新処理を行う通番一致時処理を行うことを特徴とする遊技用システム。

【請求項3】

請求項1又は2に記載した遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、前記通信可否検知手段により通信不可能状態を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額の範囲内で遊技媒体を貸与するための貨幣貸与処理を行い、

該貨幣貸与処理による残額が有る場合には、該残額を入金残額として記録した記録媒体を排出し、

前記記録媒体受付情報送信手段は、前記受け付けた記録媒体に入金残額が記録されている場合には、該入金残額をさらに含む前記記録媒体受付情報を前記管理装置に対して送信し、

前記管理装置は、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に入金残額が含まれることを条件として、該入金残額を加算予定額として、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、前記第1の通番更新処理と、該記録媒体識別情報に対応する管理残額と加算予定額との合算額を特定可能な残額通知を前記遊技用装置に対して送信する処理とを行う入金残額処理手段を有し、

前記遊技用装置は、前記残額通知の受信に応じて、該残額通知に基づいて特定される合算額の範囲内で前記記録媒体貸与処理を可能とするための貸与可能処理と、前記記録媒体に記録されている入金残額を零に更新するかあるいは消去する入金残額不存在処理と、前記第2の通番更新処理と、該入金残額不存在処理を行った旨を示す入金残額不存在処理情報を前記管理装置に対して送信する処理とを行う入金残額不存在処理手段を有し、

前記管理装置は、

前記入金残額不存在処理情報の受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して該記録媒体識別情報に対応する加算予定額を加算する加算予定額加算処理と、該加算予定額を加算済であることを特定可能な状態に更新する加算予定額加算済更新処理とを行う加算予定額処理手段を有し、

前記通番判定手段により通番が一致しないと判定され、かつ前記加算予定額について加算予定額加算済更新処理が行われないことを条件として、前記加算予定額加算処理を行うことなく、前記加算予定額加算済更新処理を行ふと共に、前記通番が一致するように更新する通番不一致時処理を行い、

前記通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記加算予定額について加算予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記加算予定額加算処理と、前記加算予定額加算済更新処理とを行う通番一致時処理を行うことを特徴とする遊技用システム。

【請求項4】

請求項1又は2に記載した遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、前記通信可否検知手段により通信不可能状態を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額の範囲内で遊技媒体を貸与するための貨幣貸与処理を行い、

該貨幣貸与処理による残額が有る場合には、該残額を入金残額として記録した記録媒体を排出し、

前記記録媒体受付情報送信手段は、前記受け付けた記録媒体に入金残額が記録されている場合には、該入金残額をさらに含む前記記録媒体受付情報を前記管理装置に対して送信し、

前記管理装置は、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に入金残額が含まれることを条件として、該入金残額を、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して加算する処理と、該入金残額を加算済入金残額として、該記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、前記第1の通番更新処理と、前記管理残額を含む残額通知を前記遊技用装置に対して送信する処理とを行う入金残額処理手段を有し、

前記遊技用装置は、前記残額通知の受信に応じて、該残額通知に含まれる管理残額の範囲内で前記記録媒体貸与処理を可能とするための貸与可能処理と、前記記録媒体に記録されている入金残額を零に更新するかあるいは消去する入金残額不存在処理と、前記第2の通番更新処理と、該入金残額不存在処理を行った旨を示す入金残額不存在処理情報を前記管理装置に対して送信する処理とを行う入金残額不存在処理手段を有し、

前記管理装置は、

前記入金残額不存在処理情報を受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応付けて記憶している加算済入金残額に対応する入金残額について入金残額不存在処理済であることを特定可能な状態に更新する入金残額処理済更新処理とを行う入金残額処理済更新処理手段を有し、

前記通番判定手段により通番が一致しないと判定され、かつ前記加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われていないことを条件として、前記管理残額から該加算済入金残額を減算する加算済入金残額減算処理と、前記入金残額処理済更新処理とを行うと共に、前記通番が一致するように更新する通番不一致時処理を行い、

前記通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われないことを条件として、前記入金残額処理済更新処理を行いう通番一致時処理を行うことを特徴とする遊技用システム。

【請求項5】

請求項3又は4に記載した遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

前記記録媒体貸与処理に使用される使用額及び該使用額に対応する間接税額を前記管理残額から減算するための処理を行い、

前記通信可否検知手段により通信不可能状態を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、前記受付貨幣額から、前記管理残額を遊技媒体の貸与に使用する際の予め定められた一単位である単位使用額と該単位使用額に対応する間接税額との合算額である税込単位額の整数倍に相当する貸与対象額と、該税込単位額未満の端数額とを特定する特定手段をさらに有し、

遊技者の操作によることなく、該特定手段により特定された貸与対象額分の遊技媒体を貸与するための処理を前記貨幣貸与処理として行い、

前記特定手段により特定された端数額を前記入金残額として記録した前記記録媒体を排出する処理を行うことを特徴とする遊技用システム。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 つに記載した遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、前記記録媒体貸与処理として、予め定められた基準貸与額分の遊技媒体を貸与するための処理を行い、該記録媒体貸与処理に伴って、前記第 2 の通番更新処理を行うと共に、該記録媒体貸与処理に使用される基準貸与額を前記管理残額から減算するための減算要求を前記管理装置に対して送信し、

前記管理装置は、前記基準貸与額を管理し、前記減算要求の受信に応じて、該管理している基準貸与額を前記管理残額から減算する減算処理を行い、該減算処理に伴って、前記第 1 の通番更新処理を行うと共に、該減算処理を行った旨を示す減算完了通知を前記遊技用装置に対して送信し、

前記遊技用装置は、前記減算完了通知を受信したことを条件として、次の前記記録媒体貸与処理を行い、

前記管理装置は、

前記入金要求の受信に応じて、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けて入金処理中である旨を記憶すると共に、前記遊技用装置から前記通番更新通知を受信したことを条件として、前記入金処理中である旨の記憶を該入金処理中でない旨に更新し、

前記通番判定手段により通番が一致しないと判定されたときに、前記入金処理中でない旨が記憶されていることを条件として、前記減算処理を行うことを特徴とする遊技用システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

まず請求項 1 に係る発明は、遊技機（パチンコ機 10）に対応して設けられる遊技用装置（玉貸ユニット 20）と、複数の前記遊技用装置と通信可能であり、該遊技用装置で行われる各種処理に伴い該遊技用装置により更新される通番が少なくとも記録される記録媒体（会員カード 4、ビジタコイン 5）を個々に識別可能な記録媒体識別情報（記録媒体 ID）に対応付けて、通番及び遊技媒体（パチンコ玉）の貸与に使用される残額を（残額管理 DB で）管理する管理装置（50）と、を備え、前記遊技用装置は、前記管理装置と通信できる通信可能状態（オンライン状態）であるか通信できない通信不可能状態（オフライン状態）であるかを検知する通信可否検知手段（制御部 21）を有し、該通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貸与操作を受け付けたことに基づいて、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲内で遊技媒体を貸与するための記録媒体貸与処理を行い、前記通信可否手段による検知に関わらず前記記録媒体を排出する遊技用システム（1）であって、前記遊技用装置は、

前記通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額と前記記録媒体の記録媒体識別情報とを含む入金要求を前記管理装置に対して送信する入金要求送信手段（制御部 21 及び外部通信部 21 b）を有し、前記管理装置は、前記入金要求の受信に応じて、該入金要求に含まれる受付貨幣額を入金予定額として、該入金要求に含まれる記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、該記録媒体識別情報に対応する通番を更新する第 1 の通番更新処理と、前記記録媒体識別情報に対応する管理残額と入金予定額との合算額を特定可能な残額通知を前記遊技用装置に対して送信する処理とを行う入金要求受信処理手段（制御部

5 2 及び通信部 5 1) を有し、前記遊技用装置は、前記残額通知の受信に応じて、該残額通知に基づいて特定される合算額の範囲内で遊技媒体の貸与を可能とするための貸与可能処理(受付貨幣の取込)と、前記記録媒体の通番を更新する第2の通番更新処理と、該第2の通番更新処理を行った旨を示す通番更新通知(貨幣取込通知)を前記管理装置に対して送信する通番更新通知送信処理とを行う残額通知受信処理手段(制御部21及び外部通信部21b)をさらに有し、前記管理装置は、前記通番更新通知の受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して該記録媒体識別情報に対応する入金予定額を加算する入金予定額加算処理と、該入金予定額を加算済であることを特定可能な状態に更新する入金予定額加算済更新処理とを行う通番更新通知受信処理手段(制御部52)をさらに有し、前記遊技用装置は、前記記録媒体を受け付けたことに基づいて、該受け付けた記録媒体に記録されている記録媒体識別情報と通番とを少なくとも含む記録媒体受付情報(挿入通知)を前記管理装置に対して送信する記録媒体受付情報送信手段(制御部21及び外部通信部21b)をさらに有し、前記管理装置は、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に含まれる通番が、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する通番と一致するか否かを判定する通番判定手段(制御部52)をさらに有し、該通番判定手段により通番が一致しないと判定され、かつ前記入金予定額について入金予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記入金予定額加算処理を行うと共に、前記通番が一致するように更新する通番不一致時処理を行い、前記通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記入金予定額について入金予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記入金予定額加算処理と、前記入金予定額加算済更新処理とを行う通番一致時処理を行うことを特徴とする遊技用システムである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また請求項2に係る発明は、遊技機(パチンコ機10)に対応して設けられる遊技用装置(玉貸ユニット20)と、複数の前記遊技用装置と通信可能であり、該遊技用装置で行われる各種処理に伴い該遊技用装置により更新される通番が少なくとも記録される記録媒体(会員カード4、ビジタコイン5)を個々に識別可能な記録媒体識別情報(記録媒体ID)に対応付けて、通番及び遊技媒体(パチンコ玉)の貸与に使用される残額を(残額管理DBで)管理する管理装置(50)と、を備え、前記遊技用装置は、前記管理装置と通信できる通信可能状態(オンライン状態)であるか通信できない通信不可能状態(オフライン状態)であるかを検知する通信可否検知手段(制御部21)を有し、該通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貸与操作を受け付けたことに基づいて、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲内で遊技媒体を貸与するための記録媒体貸与処理を行い、前記通信可否手段による検知に関わらず前記記録媒体を排出する遊技用システム(1)であって、前記遊技用装置は、前記通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額と前記記録媒体の記録媒体識別情報とを含む入金要求を前記管理装置に対して送信する入金要求送信手段(制御部21及び外部通信部21b)を有し、前記管理装置は、前記入金要求の受信に応じて、該入金要求に含まれる受付貨幣額を、該入金要求に含まれる記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して加算する処理と、該受付貨幣額を加算済受付貨幣額として、該記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、該記録媒体識別情報に対応する通番を更新する第1の通番更新処理と、前記記録媒体識別情報に対応する管理残額を含む残額通知を前記遊技用装置に対して送信する残額通知送信処理とを行う入金要求受信処理手段(制御部52及び通信部51)を有し、前記遊技用装置は、前記残額通知の受信に応じて、該残額通知に含まれる管

理残額の範囲内で遊技媒体の貸与を可能とするための貸与可能処理（受付貨幣の取込）と、前記記録媒体に記録される通番を更新する第2の通番更新処理と、該第2の通番更新処理を行った旨を示す通番更新通知（貨幣取込通知）を前記管理装置に対して送信する通番更新通知送信処理とを行う残額通知受信処理手段（制御部21及び外部通信部21b）をさらに有し、前記管理装置は、前記通番更新通知の受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応付けて記憶している加算済受付貨幣額を処理済であることを特定可能な状態に更新する受付貨幣額処理済更新処理を行う通番更新通知受信処理手段（制御部52）をさらに有し、前記遊技用装置は、前記記録媒体を受け付けたことに基づいて、該受け付けた記録媒体に記録されている記録媒体識別情報と通番とを少なくとも含む記録媒体受付情報（挿入通知）を前記管理装置に対して送信する記録媒体受付情報送信手段（制御部21及び外部通信部21b）をさらに有し、前記管理装置は、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に含まれる通番が、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する通番と一致するか否かを判定する通番判定手段（制御部52）をさらに有し、該通番判定手段により通番が一致しないと判定され、かつ前記加算済受付貨幣額について受付貨幣額処理済更新処理が行われていないことを条件として、前記管理残額から該加算済受付貨幣額を減算する加算済受付貨幣額減算処理と、前記受付貨幣額処理済更新処理とを行うと共に、前記通番が一致するように更新する通番不一致時処理を行い、前記通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記加算済受付貨幣額について受付貨幣額処理済更新処理が行われていないことを条件として、前記受付貨幣額処理済更新処理を行う通番一致時処理を行うことを特徴とする遊技用システムである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また請求項3に係る発明は、請求項1又は2に記載した遊技用システム（1）であって、前記遊技用装置（玉貸ユニット20）は、前記通信可否検知手段（制御部21）により通信不可能状態（オフライン状態）を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額の範囲内で遊技媒体を貸与するための貨幣貸与処理を行い、該貨幣貸与処理による残額が有る場合には、該残額を入金残額（オフライン端数額）として記録した記録媒体（会員カード4、ビジタコイン5）を排出し、前記記録媒体受付情報送信手段（制御部21及び外部通信部21b）は、前記受け付けた記録媒体に入金残額が記録されている場合には、該入金残額をさらに含む前記記録媒体受付情報（挿入通知）を前記管理装置（50）に対して送信し、前記管理装置は、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に入金残額が含まれることを条件として、該入金残額を加算予定額として、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、前記第1の通番更新処理と、該記録媒体識別情報に対応する管理残額と加算予定額との合算額を特定可能な残額通知を前記遊技用装置に対して送信する処理とを行う入金残額処理手段（制御部52及び通信部51）を有し、前記遊技用装置は、前記残額通知の受信に応じて、該残額通知に基づいて特定される合算額の範囲内で前記記録媒体貸与処理を可能とするための貸与可能処理と、前記記録媒体に記録されている入金残額を零に更新するかあるいは消去する入金残額不存在処理と、前記第2の通番更新処理と、該入金残額不存在処理を行った旨を示す入金残額不存在処理情報（端数額消去通知）を前記管理装置に対して送信する処理とを行う入金残額不存在処理手段（制御部21及び外部通信部21b）を有し、前記管理装置は、前記入金残額不存在処理情報の受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して該記録媒体識別情報に対応する加算予定額を加算する加算予定額加算処理と、該加算予定額を加算済であることを特定可能な状態に更新する加算予定額加算済更新処理とを行う加算予定額処理手段（制御部52）を有し、前記通番判定手段（制御部52）により通番が一致しないと判定され、かつ前記加算予定額につ

いて加算予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記加算予定額加算処理を行うことなく、前記加算予定額加算済更新処理を行うと共に、前記通番が一致するように更新する通番不一致時処理を行い、前記通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記加算予定額について加算予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記加算予定額加算処理と、前記加算予定額加算済更新処理とを行う通番一致時処理を行うことを特徴とする遊技用システムである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また請求項4に係る発明は、請求項1又は2に記載した遊技用システム(1)であって、前記遊技用装置(玉貸ユニット20)は、前記通信可否検知手段(制御部21)により通信不可能状態(オフライン状態)を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額の範囲内で遊技媒体を貸与するための貨幣貸与処理を行い、該貨幣貸与処理による残額が有る場合には、該残額を入金残額(オフライン端数額)として記録した記録媒体(会員カード4, ビジタコイン5)を排出し、前記記録媒体受付情報送信手段(制御部21及び外部通信部21b)は、前記受け付けた記録媒体に入金残額が記録されている場合には、該入金残額をさらに含む前記記録媒体受付情報(挿入通知)を前記管理装置(50)に対して送信し、前記管理装置は、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に入金残額が含まれることを条件として、該入金残額を、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して加算する処理と、該入金残額を加算済入金残額として、該記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、前記第1の通番更新処理と、前記管理残額を含む残額通知を前記遊技用装置に対して送信する処理とを行う入金残額処理手段(制御部52及び通信部51)を有し、前記遊技用装置は、前記残額通知の受信に応じて、該残額通知に含まれる管理残額の範囲内で前記記録媒体貸与処理を可能とするための貸与可能処理と、前記記録媒体に記録されている入金残額を零に更新するかあるいは消去する入金残額不存在処理と、前記第2の通番更新処理と、該入金残額不存在処理を行った旨を示す入金残額不存在処理情報を前記管理装置に対して送信する処理とを行う入金残額不存在処理手段(制御部21及び外部通信部21b)を有し、前記管理装置は、前記入金残額不存在処理情報の受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応付けて記憶している加算済入金残額に対応する入金残額について入金残額不存在処理済であることを特定可能な状態に更新する入金残額処理済更新処理とを行う入金残額処理済更新処理手段(制御部52)を有し、前記通番判定手段(制御部52)により通番が一致しないと判定され、かつ前記加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われていないことを条件として、前記管理残額から該加算済入金残額を減算する加算済入金残額減算処理と、前記入金残額処理済更新処理とを行うと共に、前記通番が一致するように更新する通番不一致時処理を行い、前記通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われないことを条件として、前記入金残額処理済更新処理を行う通番一致時処理を行うことを特徴とする遊技用システムである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また請求項5に係る発明は、請求項3又は4に記載した遊技用システム(1)であって、前記遊技用装置(玉貸ユニット20)は、前記記録媒体貸与処理に使用される使用額及

び該使用額に対応する間接税額（消費税額）を前記管理残額から減算するための処理を行い、前記通信可否検知手段（通信部21）により通信不可能状態（オフライン状態）を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、前記受付貨幣額から、前記管理残額を遊技媒体の貸与に使用する際の予め定められた一単位である単位使用額（100円）と該単位使用額に対応する間接税額（5円）との合算額である税込単位額（105円）の整数倍に相当する貸与対象額と、該税込単位額未満の端数額とを特定する特定手段（制御部21）をさらに有し、遊技者の操作によることなく、該特定手段により特定された貸与対象額分の遊技媒体を貸与するための処理（いわゆる一発貸し）を前記貨幣貸与処理として行い、前記特定手段により特定された端数額を前記入金残額（オフライン端数額）として記録した前記記録媒体（会員カード4、ビジタコイン5）を排出する処理を行うことを特徴とする遊技用システムである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

さらに請求項6に係る発明は、請求項1～5のいずれか1つに記載した遊技用システム（1）であって、前記遊技用装置（玉貸ユニット20）は、前記記録媒体貸与処理として、予め定められた基準貸与額（税抜500円、税込525円）分の遊技媒体（パチンコ玉）を貸与するための処理を行い、該記録媒体貸与処理に伴って、前記第2の通番更新処理を行うと共に、該記録媒体貸与処理に使用される基準貸与額を前記管理残額から減算するための減算要求を前記管理装置（50）に対して送信し、前記管理装置は、前記基準貸与額を管理し、前記減算要求の受信に応じて、該管理している基準貸与額を前記管理残額から減算する減算処理を行い、該減算処理に伴って、前記第1の通番更新処理を行うと共に、該減算処理を行った旨を示す減算完了通知を前記遊技用装置に対して送信し、前記遊技用装置は、前記減算完了通知を受信したことを条件として、次の前記記録媒体貸与処理を行い、前記管理装置は、前記入金要求の受信に応じて、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けて入金処理中である旨を記憶すると共に、前記遊技用装置から前記通番更新通知を受信したことを条件として、前記入金処理中である旨の記憶を該入金処理中でない旨に更新し、前記通番判定手段（制御部52）により通番が一致しないと判定されたときに、前記入金処理中でない旨が記憶されていることを条件として、前記減算処理を行うことを特徴とする遊技用システムである。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

まず請求項1に係る遊技用システムによれば、遊技用装置での処理に伴って更新される通番が記録媒体に記録されるので、オフライン状態が発生した遊技用装置がオンライン状態に復帰するのを待つことなく、該遊技用装置から排出された記録媒体が他のオンライン状態の遊技用装置において受け付けられることで、該記録媒体に記録されている通番と該記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けて管理装置で管理されている通番から、オフライン状態の発生により管理装置で処理が行われたにもかかわらず当該処理に対応する処理が

遊技用装置で行われていないことを特定して、対処することができる。即ち管理装置において、通番が一致しないと判定され、かつ入金予定額について入金予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、入金予定額加算処理を行うことなく、入金予定額加算済更新処理を行うと共に、通番が一致するように更新するので、管理装置が入金要求を受信してから遊技用装置が残額通知を受信する前にオフライン状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。一方、管理装置において、通番が一致すると判定され、かつ入金予定額について入金予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、入金予定額加算処理と、入金予定額加算済更新処理とを行うので、遊技用装置が残額通知を受信してから管理装置が通番更新通知を受信する前にオフライン状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また請求項2に係る遊技用システムによれば、遊技用装置での処理に伴って更新される通番が記録媒体に記録されるので、オフライン状態が発生した遊技用装置がオンライン状態に復帰するのを待つことなく、該遊技用装置から排出された記録媒体が他のオンライン状態の遊技用装置において受け付けられることで、該記録媒体に記録されている通番と該記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けて管理装置で管理されている通番から、オフライン状態の発生により管理装置で処理が行われたにもかかわらず当該処理に対応する処理が遊技用装置で行われていないことを特定して、対処することができる。即ち管理装置において、通番が一致しないと判定され、かつ加算済受付貨幣額について受付貨幣額処理済更新処理が行われていないことを条件として、管理残額から該加算済受付貨幣額を減算する加算済受付貨幣額減算処理と、受付貨幣額処理済更新処理とを行うと共に、通番が一致するように更新するので、管理装置が入金要求を受信してから遊技用装置が残額通知を受信する前にオフライン状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。一方、管理装置において、通番が一致すると判定され、かつ加算済受付貨幣額について受付貨幣額処理済更新処理が行われていないことを条件として、受付貨幣額処理済更新処理を行うので、遊技用装置が残額通知を受信してから管理装置が通番更新通知を受信する前にオフライン状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また請求項3に係る遊技用システムによれば、オフライン状態の遊技用装置が貨幣を受け付け、受付貨幣額の範囲内で遊技媒体を貸与するようにした場合にも、残額を入金残額として記録した記録媒体が排出され、該記録媒体がオンライン状態の遊技用装置において受け付けられることで、管理装置において該記録媒体の入金残額が管理残額に加算されるので、遊技用装置に釣銭払出機能等を設ける必要がなく、遊技用装置のコストが上昇することがない。また、入金残額を精算することなく遊技に使用することができるので、遊技者の利便性が向上する。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

さらに管理装置において、通番が一致しないと判定され、かつ加算予定額について加算予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、加算予定額加算処理を行うことなく、加算予定額加算済更新処理を行うと共に、通番が一致するように更新するので、管理装置が記録媒体受付通知を受信してから遊技用装置が残額通知を受信する前にオフライン状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。一方、管理装置において、通番が一致すると判定され、かつ加算予定額について加算予定額加算済更新処理が行われていないことを条件として、加算予定額加算処理と加算予定額加算済更新処理とを行うので、遊技用装置が残額通知を受信してから管理装置が通番更新通知を受信する前にオフライン状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また請求項4に係る遊技用システムによれば、オフライン状態の遊技用装置が貨幣を受け付け、受付貨幣額の範囲内で遊技媒体を貸与するようにした場合にも、残額を入金残額として記録した記録媒体が排出され、該記録媒体がオンライン状態の遊技用装置において受け付けられることで、管理装置において該記録媒体の入金残額が管理残額に加算されるので、遊技用装置に釣銭払出機能等を設ける必要がなく、遊技用装置のコストが上昇することがない。また、入金残額を精算することなく遊技に使用することができるので、遊技者の利便性が向上する。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

さらに管理装置において、通番が一致しないと判定され、かつ加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われていないことを条件として、管理残額から該加算済入金残額を減算する加算済入金残額減算処理と、入金残額処理済更新処理とを行うと共に、通番が一致するように更新するので、管理装置が入金要求を受信してから遊技用装置が残額通知を受信する前にオフライン状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。一方、管理装置において、通番が一致すると判定され、かつ加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われいないことを条件として、入金残額処理済更新処理を行ないので、遊技用装置が残額通知を受信してから管理装置が通番更新通知を受信する前にオフライン状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また請求項5に係る遊技用システムによれば、記録媒体貸与処理に使用された使用額に対応する間接税額を徴収する場合に、オフライン状態の遊技用装置が貨幣を受け付けたときに、受付貨幣額から、予め定められた単位使用額と該単位使用額に対応する間接税額との合算額である税込単位額の整数倍に相当する貸与対象額を特定し、該特定した貸与対象額分の遊技媒体を貸与するための貨幣貸与処理（いわゆる一発貸し）を行うようにしても、該貨幣貸与処理によって発生する端数額が記録媒体に記録されて排出され、該記録媒体

がオンライン状態の遊技用装置において受け付けられることで、管理装置において該記録媒体の端数額が管理残額に加算されて遊技媒体の貸与に使用可能となることにより、該端数額を処理するための釣銭払出機能や追加入金機能を遊技用装置に設ける必要がないので、遊技用装置のコストが上昇することがない。

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

さらに請求項6に係る遊技用システムによれば、遊技用装置で記録媒体貸与処理が行われたにも拘わらず、オンライン状態の発生により管理装置で残額の減算処理が行われなかつた場合に、当該記録媒体が他のオンライン状態の遊技用装置において受け付けられることで、管理装置において、該記録媒体に記録されている通番と該記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けて管理装置で管理されている通番とが一致しないと判定され、かつ入金処理中でない旨が記憶されていることを条件として、減算処理が行われなかつたことが特定され、該減算処理が行われて残額が確定するので、オンライン状態が発生した遊技用装置がオンライン状態に復帰するのを待つことなく、管理残額を他の遊技用装置において使用することが可能となり、遊技者に迷惑がかかることがなく、また遊技場が損をすることもない。